

大学等遠隔授業における LINE OpenChat の利用について

北九州市立大学 岡本清美、徳島大学 ギュンター知枝、京都外国語大学 立岩礼子

kiyomiokamoto@gmail.com

2020年3月31日(第2版)

1. 動機

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、大学等では、授業実施に次の2点を考える必要が出てきた。第1に、オンラインを含む遠隔授業への転換である。遠隔授業には同期・非同期があり、Zoom などのビデオ会議ツールの活用も検討されているが、使用する通信量が莫大であり、通信インフラが整っていない現状では他の選択肢も用意されるべきである。第2に、教室に学生を集めて「対面」授業を行う際も、感染予防の観点から学生同士の「対面」ができないため、語学授業における会話練習などに限らず、ペアワーク・グループワークに代わる手法も考えなければならない。

今般のように急に教育手法を変えざるを得ない場合においても、教員・学生の双方で、教育内容以外の負担はなるべく低く抑えるべきである。そこで、本稿では、学生(そして多くの教員)にとって日常的に使っているアプリの一つである LINE だけを使って、教員と学生のコミュニケーションの場を用意することを提案する。

2. 概要(手順)

- ① 教員が LINE 公式アカウントを取得する。
- ② 教員の LINE 公式アカウントと受講生が「友だち」になる。
- ③ 教員個人 LINE アカウントで LINE OpenChat(以下 OC)を開始する。
- ④ 公式アカウントから受講生に OC への招待リンクを送付する。
- ⑤ 授業で OC を利用する。

なお、学生が Moodle などの LMS にアクセス可能な場合や受講者用のメーリングリストがある場合は、上記①と②は不要である(LMS やメーリングリストで OC への招待リンクを送付する)。①と②については、付録「LINE 公式アカウント開設方法」にて詳細を説明している。

OC の利用では、OC 参加者(教員と受講生)の個人 LINE アカウントで使用しているプロフィールアイコンや名前は一切表示されない。

2.1. LINE 公式アカウントの取得

LINE のアカウントには、通常私たちが使う個人アカウントと、企業や店舗が宣伝活動を行うために使う公式アカウントの2種類がある。前者では個人の電話番号と紐づけされていることが多いため、教員と受講生間だけでなく、他の受講者すべてと「友だち」になることを受講生が躊躇するのは当然である。

一方、後者の LINE アカウントである「公式アカウント」(旧@LINE)の場合、有効なメールアドレスだけで公式アカウントを作成することができ、また個人用の LINE とは独立したものである。Line for Business とうたっているが、個人・法人を問わずに開設できる。

2.2. 受講生と「友だち」に

教員が LINE 公式アカウントを取得したら、URL のメール送信、または LMS や授業で QR コードを表示・印刷するなどして、教員の公式アカウントと学生の個人 LINE アカウントを「友だち」になってもらう。開講時から遠隔授業など学生に会う機会がない場合は、本提案の中でここが最も難しいと思われる。

2.3. OC の立ち上げ・学生の招待・授業の実施

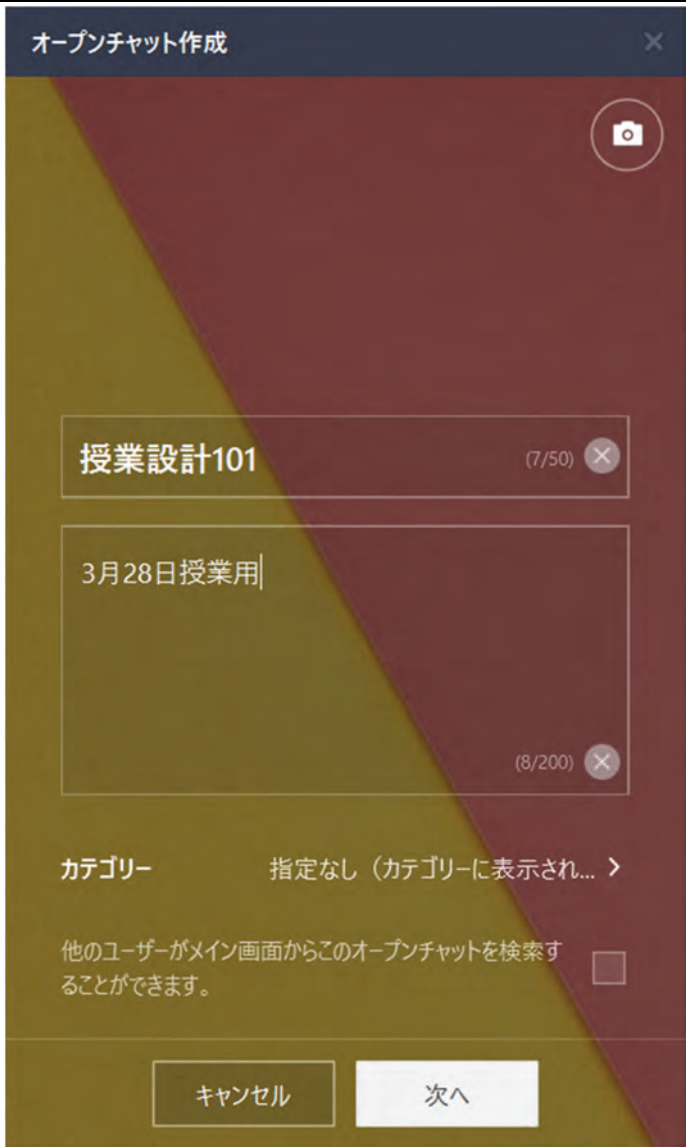
下記の OC 操作マニュアルを参照のこと。なお、通常の LINE グループトークと違い、参加者間で音声通話・ビデオ通話をすることはできない(下記比較表参照)。

3. 最後に

学生・教員双方のツールへの普及度・親和性を考えた際、新たなアプリケーションを使わず LINE だけで完結する「場」があれば、例えば Zoom や YouTube などの補完的な役割ができるのではないかと考え、本手法を提案する。LINE 利用者であれば誰でも参加できるため、まずは家族間友人間で OC 立ち上げ・運営の練習をしていただきたい。

大学授業で使うための LINE OpenChat マニュアル		
1.		左側のサイドバー上から 3 つ目「友達追加」(人とプラスマークのアイコン)をクリック

2.		上から 3 つ目のコマンド 「オープンチャット作成」を クリック
3.		OC 作成の際、背景(壁紙)は自動的に選ばれますが、見づらいので、あらかじめ画像ファイルを用意しておくのがいいでしょう

4.		① 右上カメラをクリック 「使用中の PC から選 択」 ② 上記3で用意した画像 を選択 ③ オープンチャット名 (『授業設計101』)を 入力 ④ 説明(『3月28日授業 用』)を入力 ⑤ カテゴリー:「指定な し」のまま ⑥ 他のユーザーが…:チ ェックを外す ⑦ 次へ (⑤と⑥は部外者が検索し てトークルームに入らない ように)
----	--	--

5.		① アイコン写真の編集はカメラをクリック ② テキストプロフィールの場合は別ウィンドウが開く ③ 下の長四角の中にこのトークルーム内で使うニックネームを入れる ④ 完了をクリック 受講生のニックネームには学籍番号と名字を入れさせます。学籍番号は例えば下3桁など判別がつく桁数でよいでしょう。学生が匿名でもよい場合はこの限りではありません。 プロフィールアイコンに自分の写真を使うよう指示するのよいと思います。
6.		「確認しました」をクリック

7.



画面右上メニュー【トーク】

招待:受講生をトークルームに入ってもらうためのリンク・QRコードを取得できる

保存:終了後ログをテキストファイルで保存できる

【コンテンツをまとめて…】

下記別項参照

【設定】

背景:ここで設定した背景は自分の画面だけに表示される

削除:授業終了後、必要であればログを取って本OC すべてを削除

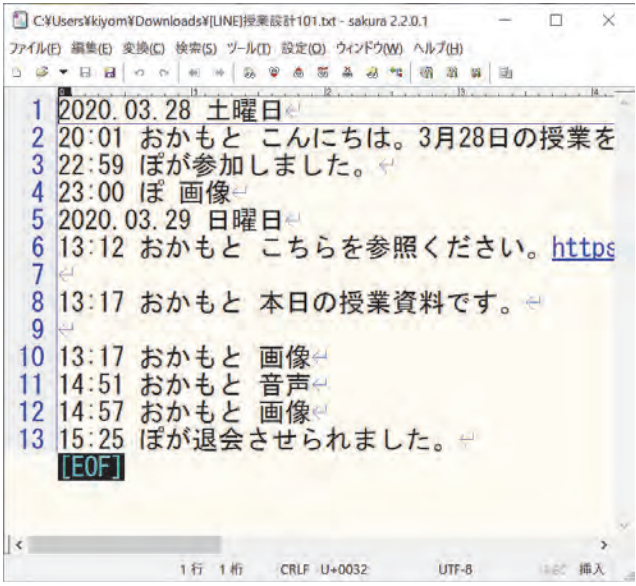
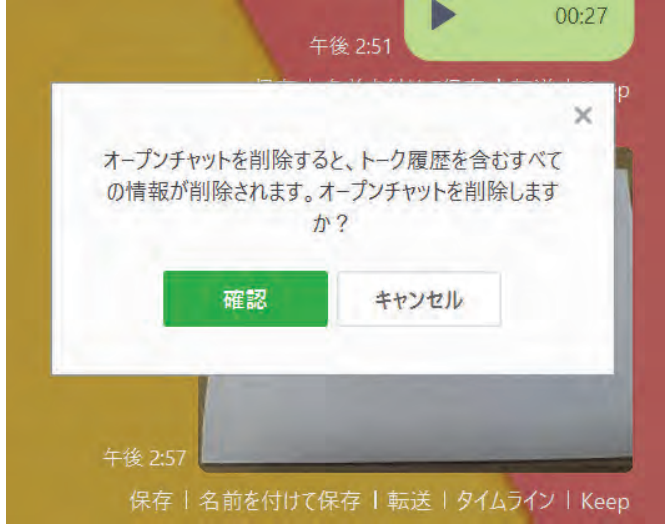
8.		メニューの「招待」から、学生招待用のリンクを取得します。遠隔で行うことを考えると、QRコードではなく、下の「リンクをコピー」が適当です。 ここで取得したリンクは、教員の公式アカウントから学生に一斉送信します。
9.		トークルームはこのように見えます。通常の LINE グループトークと同じで、自分以外の発言はすべて左側に表示されます。 画面上部青い帯の部分に「2」とあるのは、本 OC に現在2名参加していることを示します(ホストである教員含む) 「2」の右横にある四角のアイコンは「ノート」です。通常の LINE やグループトークと同様の機能です。

10.		参加者(教員・学生)が投稿した「URL リンク」「写真動画」はメニュー内の「コンテンツをまとめて表示」に一覧で並びます。 mp3 ファイルはプレイヤー付きで表示されました。(ただし、上記一覧のファイルでは出てきません。？です) 学生が手書きしたものを写真に撮って投稿することもできます。写真の隅に名前を書かせれば評価(ピア評価含む)にも便利です。
11.		「コンテンツをまとめて表示」では、投稿された時間順に写真が並びます。URL やファイルも同じです。

12.		多くの参加者がいて、投稿が増えると、教員が受講者に見てほしい投稿が「流れて」いってしまうことがあります。それを回避するため「アナウンス」機能があります。 画面下部に「11時まで」と学生に課題提出締切時間を呼びかけました。受講者全員がこの投稿を見る前に一部が課題の投稿を始めてしまうと、教員からの呼びかけに気付かない受講者が出てしまいます。
13.		そこで、参加者全員に確実に見てほしい投稿の上で右クリックをして、メニューから「アナウンス」を選びます。

14.		すると、画面上部にスピーカーの絵が付いた白い帯で先ほどの投稿が掲出されます。これが「アナウンス」です。ただし、元の投稿もそのまま残ります(画面下部参照)。これで、大切な投稿を参加者全員がいつでも見ることができます。 アナウンス機能が使えるのは、OC のホストである教員のみです。
15.		不適切な投稿(写真やメッセージなど全て)を削除する際の画面です。クラス内でルールを決めておくといいかもしれません。 投稿の削除は受講者でもできます。

16.		学生のプロフィールアイコンをクリックすると別ウィンドウが開きます。ここから「強制退会」させることもできます。
17.		強制退会の確認画面です。 注意！強制退会者の投稿はトーク上に残ります。

18.		発言のログはこのようになります.txt ファイルです。
19.		授業終了後、メニューから「OC を削除」で削除できます。次回の授業には新規の OC を立ち上げてください。ただし、プロフィールアイコン(○)とニックネームは次回も同じものが出てきます。

LINE グループトークと OpenChat:比較表

	グループトーク	OpenChat
プロフィール(丸アイコン)	個人 LINE から変更不可	個人 LINE から変更可 いつでも変更可
表示される名前	個人 LINE から変更不可	個人 LINE から変更可 いつでも変更可
音声通話(複数での通話)	可	不可
ビデオ通話(同上)	可	不可
退会	不可 (参加者の自発的退会は可)	可 (ホストに強制退会権あり)

0. 公式アカウント開設には「**LINE ビジネスアカウント**」が必要となります(手順1～9)。

1. LINE 公式アカウントのページから、「無料アカウントを開設」をクリック



2. 「未承認アカウントを開拓する」をクリック



アカウント種別について(Web サイトより抜粋)

認証済アカウントとは？

当社所定の審査を通過することで取得できるアカウントです。アカウントバッジが付与され、LINE アプリ内での検索結果に表示されるようになります。

未認証アカウントとは？

個人・法人問わず審査なしで誰でも作成できるアカウントです。基本機能は認証済アカウントと変わらず、有料プランへのグレードアップも可能です。

3. 「アカウントを作成」をクリック



LINE Business ID

LINEアカウントでログイン

または

ビジネスアカウントでログイン

[アカウントを作成](#)

LINEビジネスIDの利用については利用規約が適用されます。ログインすると規約に同意したものとみなされます。

[③ LINEビジネスIDについて](#)

日本語 [ヘルプ](#) [利用規約](#) © LINE Corporation

4. 「メールアドレスで登録」をクリック



LINE Business ID

LINEアカウントで登録

または

メールアドレスで登録

[アカウントをお持ちの場合はログイン](#)

LINEビジネスIDの利用については利用規約が適用されます。登録すると規約に同意したものとみなされます。

[③ LINEビジネスIDについて](#)

日本語 [ヘルプ](#) [利用規約](#) © LINE Corporation

5. メールアドレスを入力、送信

LINE Business ID

LINEアカウントで登録

または

メールアドレスを入力してください。登録用のリンクをお送りします。

メールアドレス ⑦

kiyomiokamoto@gmail.com

登録用のリンクを送信

アカウントをお持ちの場合はログイン

LINEビジネスIDの利用については利用規約が適用されます。登録すると規約に同意したものとみなされます。

② LINEビジネスIDについて

日本語

6. 登録メールを確認し、メール中の「登録画面に進む」をクリックすると次の画面が表示されます。ビジネスアカウント用のログイン名とパスワードを入力し、「登録」をクリック

LINE Business ID

メールアドレス ⑦

kiyomiokamoto@gmail.com

名前 ⑦

kiyomi_okamoto

パスワード ⑧

☒ 私はロボットではありません reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

登録

アカウントをお持ちの場合はログイン

7. 登録確認画面が表示されるので、「登録」をクリック



The image shows the LINE Business ID registration confirmation screen. At the top, the text "LINE Business ID" is displayed in green. Below this, there are four input fields with their respective labels: "名前" (Name) with the value "kiyomi_okamoto", "メールアドレス" (Email address) with the value "kiyomiokamoto@gmail.com", and "パスワード" (Password) with the value "*****". At the bottom, there are two buttons: a grey "変更" (Change) button and a green "登録" (Register) button.

8. 「サービスに移動」をクリック



The image shows the LINE Business ID registration completion screen. At the top, the text "LINE Business ID" is displayed in green. Below this, there is a message in Japanese: "登録が完了しました。下のボタンを押して利用するサービスに移動してください。" (Registration is complete. Please press the button below to move to the service you want to use.). In the center, there is a green button labeled "サービスに移動" (Move to service). At the bottom, there is a small logo and the text "利用規約" (Terms of Use) and "© LINE Corporation".

【「公式アカウント」の開設に進みます】

9. 緑色の●がついている箇所を入力します。クラスごと・履修者ごとでアカウントを分けておくと、一斉メッセージを送るのに便利なので、ここでは、岡本担当クラスの一つである「月曜日 1 時間目の実践英語 4 組」を対象としたアカウントを開設することにします。

(1つのビジネスアカウントにつき、公式アカウントは 100 まで開設可)



1 会社 / 店舗情報の登録

2 入力内容の確認

3 お申込み完了

LINE公式アカウントの作成

● 必須

ログイン情報

ユーザー名 kiyomi_okamoto [ログアウト](#)

サービス提供国 日本 [日本](#) 日本の料金プランが適用されます

アカウントの基本情報

● アカウント名を入力 実践英語_月1限_4組

● メールアドレス kiyomiokamoto@gmail.com

会社/事業者名

業種

● 業種 個人 個人 (教育・学術)

[「LINE公式アカウント 利用規約」](#)
上記に同意の上でお申し込みください。

確認する

【ここからは、公式アカウントの使い方を説明します】

10. 公式アカウントへのログインは「管理画面ログイン」から



11. 「管理画面」をクリック



12. アカ운trリストから、各アカウントの詳細設定を行います。設定を行うアカウント名を選びクリック



13. 各アカウントは以下のページから設定を行います。画面左側(青口)が各種設定メニューです。画面上部 2 段目(赤口)は各種機能で、タブになっています。クリックすると新しいタブで開きます。



14. 設定メニューで変更を強くお勧めするのは「あいさつメッセージ」です。これは、学生からの「友だち」リクエストが送られた際、公式アカウントから自動で配信されるメッセージです。初期値のままでも構いませんが、学生から学籍番号や氏名を返信してもらおうと、誰が「友だち」なのか分かります。最初に入っているメッセージを消して入力すると、右側のプレビュー画面に逐次表示されます。入力が終わったら、「変更を保存」をクリック

15. 学生と「友だち」になるには、左側メニュー一番下の「友だち追加」から URL を取得し、学生にメールや LMS で送ります。LMS なら QR コード画像を貼るのもいいでしょう。また、対面授業等の機会があれば、QR コード(コード上で右クリック=>コピー)を印刷して教室に貼っておくと学生が読み込んでくれます。(私は研究室のドアに貼っておく予定です)



公式アカウントと学生を「友だち」にする方法

- ① 上記で取得した URL もしくは QR コードを学生に送る(対面もしくはメールや LMS にて)
- ② 学生から公式アカウントあてにメッセージを送る
- ③ メッセージには
- ④ 学生からメッセージが来た時点で両者が「友だち」となり、チャット画面(下記)に学生が表示される

16. 機能タブ「チャット」をクリックすると、友だち(学生)との一対一のメッセージのやり取りができます。プロフィール・名前は学生個人アカウントのままですので名前の横の鉛筆マークをクリックして編集



17. 学籍番号123の岡本清美さん と変更しました。この変更は学生側には見えません。



【ここからは、OpenChat への招待を説明します】

18. 画面左上の「LINE Official Account Manager」ロゴをクリックすると、アカウントリストに戻ります。
必要なアカウントをクリック、「ホーム」から「メッセージ配信」をクリック



19. 右上「作成」からメッセージ編集画面に入ります。OC への招待リンクを貼り付けて「配信」



【ここからは「大学等遠隔授業における LINE OpenChat の利用について」をご参照ください】